

## お話「神さまといっしょに」

園長先生



進級おめでとうございます。今日からまた幼稚園がはじまります。3週間お休みでしたが、インマヌエルのイエスさまがみんなと一緒にいてくださって、また、こうして幼稚園でみんなと会えました。とっても嬉しいです。年長ゆり組さん、年中すずらん組さん。

明日はくるみ組さんが入って来ます。どんな1年間になるのか、とっても楽しみです。

一緒にたくさん遊びましょう。そして、たくさん聖書のお話も聞きましょう。

さあ、今日は、年長さん、年中さんになってはじめて聞く聖書のお話です。

聖書の言葉があります。

「新しい歌を主に向かって歌え。」 詩編 96 篇1編

これは、こひつじノート…シール帳に載っている4月の聖句です。

《詩編》というのはイエスさまの生まれるずっと前に、神さまを信じていた人が書いた歌です。

歌ですが、お祈りの言葉です。

「神さまに、新しい歌を歌えますように」ということでもあります。

なぜ、そうお祈りしたかというと、みんな、新しい歌を歌えないようなことがたくさんあったんです。嬉しいことがあると、歌を歌いたくなりますね。ゆり組さんが年中さんの時、園長先生が事務所にいてお仕事をしていると、廊下からみんなの歌が聞こえて来て、とても嬉しい気持ちになりました。トイレにいきながら歌を歌っているのを聴くと、みんなは嬉しい気持ちなんだなと思って、園長先生も嬉しくて元気をもらいます。

でも、悲しい時はどうでしょうか。あまり歌は歌えません。

「悲しい、助けて」って言える人は助けてもらえるけど、言えない人は泣いたり、じっと黙ったりしてしまいます。

みんなは、お友だちが、悲しそうにしていたらどうしますか？ 「大丈夫」と声をかける人もいるでしょうし、どうしていいかわからないから先生を呼びに行く人もいるかもしれません。でも、自分が困っていても、お友だちが悲しんでいても、私たちにはできることがあります。それはお祈りです。お祈りは、神さまとお話することです。手を合わせて、心の中で神さまにお話してください。神さまはみんなのお祈りを聞いてくださいます。お祈りで、「神さま、ありがとう」って祈ったら、神さまはとっても喜んでくださいます。悲しいことも、「神さま、悲しいです」ってお祈りでお話すると、神さま聞いてくださって、私たちのそばにいてくださって、「大丈夫だよ」と言ってくださいます。自分のことをお祈りすることもとても大切ですが、お友だちや世界中で悲しんでいる人のことをお祈りすることもとても大切です。お休みしているお友だちが元気になってまた一緒に歌ったり、遊んだりできるようにお祈りしたり、世界中のお友だちみんなが笑って笑顔になれるようにお祈りすると、神さまはもちろん、お祈りしてもらった人もとても嬉しい気持ちになります。

みんなのことをお祈りしてくれている人もいます。お祈りってとても素敵です。

さあ、今日から1学期、お部屋が変わったり、新しいお友だちができたり、楽しいこともいっぱいですが、ちょっと、不安なお友だちもいるかもしれません。でも、大丈夫！

みんなが笑顔で過ごすことができるように、神さまと一緒にいてくださいますから、神さまにお祈りをして、神さまに新しい歌を歌って過ごしていきましょう。

安心して、幼稚園にはりきって来てください。